

特殊変性エポキシ樹脂をベースにした、多機能型床用下地調整塗材です。

ホルムアルデヒド
放 散 等 級
F★★★★

■ 特長

- 若材齢コンクリート・湿潤コンクリートの塗床用下地調整塗材として効果を発揮し、下地コンクリートに浸透して固着性を高めます。
- 若材齢コンクリートの養生膜として作用するため、従来工法より強固な下地が得られます。
- 大幅な工期の短縮につながります。
- 耐水性・耐アルカリ性・耐薬品性などに優れています。
- 高強度のため、重歩行用下地調整に最適です。

■ 用途

- ①新設若材齢コンクリートモルタルの下地調整
- ②旧塗膜を侵さない改装下地の下地調整
- ③巣穴・ピンホールなどの目止め材
- ④脆弱下地の補強
- ⑤欠損部の補修、下地の不陸・段差修正

■ 荷姿

SKウェットフィラー

- ★ 主剤 2kg缶
- ★ 硬化剤 4kgポリ容器
- 粉体 10kg袋 ※粉体は危険物に該当しません。
- (標準塗坪:16~26㎡/セット(しごき塗り))

※上記の標準塗坪は一般的のものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

《危険情報と安全対策》

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。

特に★印のついている製品は溶剤形の製品であるため、下記の点にご注意ください。

1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように、十分注意してください。

※ 屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

《施工後の注意》

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

■ 性状

項目 \ 製品	SKウェットフィラー 主剤	SKウェットフィラー 硬化剤	SKウェットフィラー 粉体
外観	透明液体	淡黄色液体	グレー系粉体(粉末状)
主な組成	エポキシ樹脂	変性ポリアミン	セメント混合粉体
比重(25℃)	1.16±0.1	1.03±0.02	1.14±0.1(見かけ比重)
混合時比重	1.61±0.02(25℃)		
可使時間	こて塗り時 40分/5℃ 20分/23℃ 10分/30℃	ローラー塗り時 90分/5℃ 20分/23℃ 10分/30℃	
工程間隔時間 (初期硬化時間)	こて塗り時 16時間以上/5℃ 8時間以上/23℃ 4時間以上/30℃	ローラー塗り時 20時間以上/5℃ 8時間以上/23℃ 4時間以上/30℃	

上記可使時間並びに工程間隔時間は湿度65%RH条件を目安としています。

■ 標準施工仕様

しごき塗り

(23℃)

材 料	調 合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)		備 考
				工程内	工程間	
SKウェットフィラー 主 剤	20	0.6～1.0	1	－	8以上	こて、パテべら、 ゴムへら
SKウェットフィラー 硬化剤	40					
SKウェットフィラー 粉 体	100					
清水	0～4	－				

※ しごき塗りはこて、パテベラを用いて下地の巣穴などを目止めするようにしごいて仕上げる工法です

流し延べ塗り

(23℃)

材 料	調 合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)		備 考
				工程内	工程間	
SKウェットフィラー 主 剤	20	1.0～1.5	1	－	8以上	こて、パテべら、 ゴムへら
SKウェットフィラー 硬化剤	40					
SKウェットフィラー 粉 体	100					
清水	0～4	－				

※ 流し延べ塗りはある程度の厚み(0.6～1.2mm)を付ける工法です

ローラー、スプレー塗り

(23℃)

材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)		備 考
				工程内	工程間	
SKウェットフィラー 主 剤	20	0.6～1.0	1	－	8以上	ウールローラー、 リシンガン
SKウェットフィラー 硬化剤	40					
SKウェットフィラー 粉 体	100					
清水	20～30	－				

※ ローラー塗りはウールローラー中毛を使用して、均一にむらなく塗装仕上げてください

※ スプレー塗りはリシンガンを用い、口径4～6mm、吹付圧392～588kPa{4～6kgf/cm²}

欠損補修

(23℃)

材 料	調 合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)		備 考
				工程内	工程間	
SKウェットフィラー 主 剤	20	18 (10mm)	1	－	8以上	こて、パテべら、
SKウェットフィラー 硬化剤	40					
SKウェットフィラー 粉 体	100					
けい砂7号	40					
清水	20～30	－				

<共通>

※ 塗り継ぎや塗り付けむらのないように十分注意して塗装を行ってください。

※ 可使時間は20分(23℃)のため、調合材料は必ず20分以内に使い切ってください

※ ★SKウェットフィラー塗装後、8時間以上(23℃)は荷重をかけないでください。

■ 施工要領

<材料の調合>

1. 調合方法は予めSKウェットフィラー 主剤(2kg)とSKウェットフィラー 硬化剤(4kg)を先に混合し、電動攪拌等を用いて十分に(1～2分)攪拌してから、水やSKウェットフィラー 粉体(10kg)を順に投入し、攪拌を行ってください。
2. 水希釈量は作業内容により変わります。

作業内容	こて、パテベラ塗り	ローラー、スプレー塗り
水希釈量(wt%)	0～4	20～30

水希釈量が多すぎるとSKウェットフィラーの塗膜強度が低下しますので、水を入れすぎないように注意してください。

3. 欠損補修処理

クラック、段差修正は予め欠損補修処理として、SKウェットフィラーを上記、施工仕様にて調合した後、こて、パテベラなどにより補修しておいてください。

■ 施工上の注意点

- ※ 1. ★SKウェットフィラーの強度は非常に強く、下地を引っ張ることがあるため、新設モルタルなどは必ずレイタンス層の除去を行ってください。また、新設コンクリートの場合、コンクリート打設後浮き水がなくなり次第、表層のレイタンスを除去してください。
- ※ 2. 旧塗膜は付着性が十分にあることを確認しておいてください。
- ※ 3. 吸い込みのある下地は予め散水を行い、吸い込みを止めておいてください。
- ※ 4. ひび割れや段差修正は予め行い、補修材が硬化してから「しごき塗り」などで施工してください。
- ※ 5. 油潤面の改装の場合、予めミラククリーナーで洗浄・脱脂しておいてください。
- ※ 6. 皮膚に刺激を与える場合がありますので、取り扱いには十分注意してください。
- ※ 7. ★SKウェットフィラーは混合後、可使時間内(23℃で20分)に使い切ってください。可使時間を経過したものを使用しますと、艶引け、硬化不良、付着不良などの原因となります。
- ※ 8. 弾性系塗床材の上には施工できません。
- ※ 9. 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。やむを得ず施工を行う場合には、必ず採暖等により雰囲気温度・被塗面温度を5℃以上にしてください。
- ※ 10. ①含水率測定(高周波静電容量式水分計:ケット水分計HI-500・HI-520)により、コンクリートレンジ表示値で8%以下、②pH試験紙による測定で、pH10以下、であることを必ず確認してください。
- ※ 11. 下地コンクリートは打設後4週間以上、モルタルは2週間(冬季3週間)以上の養生をとり、かつ十分に乾燥させてください。
- ※ 12. 水勾配は下地モルタルでとってください。
- ※ 13. 軽量コンクリートは塗床下地として適していませんので、できるだけ塗装は避けてください。
- ※ 14. 風化したコンクリート、雨に打たれたり凍結により強度のないコンクリートについては別途ご相談ください。
- ※ 15. 下地に脆弱部、付着物があると付着不良の原因となります。電動工具やワイヤーブラシなどで予め除去してください。
- ※ 16. 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動攪拌機などを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。
- ※ 17. 十分な塗膜性能を確保するため、所定の塗回数、塗付け量、膜厚を確保してください。
- ※ 18. 所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
- ※ 19. 各標準施工仕様に記載の使用量及び間隔時間を守り、施工してください。
- ※ 20. 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- ※ 21. 内部の塗装で、換気が十分出ない場合や風通しの悪い場合、塗膜中の蒸気が滞留し、塗膜の乾燥が遅くなったり、硬化不良の原因となるおそれがあります。必ず十分な換気を行い、塗膜が十分に乾燥、硬化できるようにしてください。
- ※ 22. 乾燥過程で水(降雨)、結露など水分の影響を受けると白化することがあります。
- ※ 23. 施工部位を確認し、養生が適切に行われているかを確認してください。
- ※ 24. 材料の保管時は、直射日光の当たらない風通しの良い場所で保管してください。
- ※ 25. 凍結させないように5℃以上の室内に保管してください。

- ※ 26. 材料は、開缶後十分に攪拌してから、必ず計量器を利用し、製品缶に記載の比率を厳守して正確に混合してください。異なった比率で混合すると、硬化不良、塗膜異常の原因となります。

<上塗り塗装についての注意事項>

- ※ 27. 上塗材を塗装する場合は、必ず★SKウェットフィラー施工後8時間以上(23℃)経過して、★SKウェットフィラーが十分に硬化してから塗装工程に移ってください。
- ※ 28. 適用できる下塗材、上塗材は下記の通りです。
(下塗材)★アーキフロアーEHプライマー、★ミラクフロアーMHプライマー、★アーキプライマー
(上塗材)★アーキフロアーAS、★アーキフロアーEH、★アーキフロアーEH無溶剤、他弊社各種塗床材
詳しくは最寄りの各営業所までお問い合わせください。

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。